

2020 - 2021 会長 吉田克人 幹事 加藤宏治

Vol.10 1826 2020.10.21

吉田会長挨拶



会長挨拶がおこなわれました。

例年、それぞれの活動報告をしていただいているが、今年はコロナ禍のため例会が中止され時間がとれないため、それぞれの団体の代表の方に、現状と活動指針を簡単に報告いただいた。

※別紙幹事報告書

活動支援金を贈呈

ボーイスカウト・ガールスカウト・CHUKO らんどチノチノへ活動支援金が手渡された。



ニコニコBOX

人数 25人  
金額 30,000円

◎吉田 克人会長 鹿熊様をお迎えして、本日はよろしくお願ひします。  
◎五味 光亮会員 当社はアメリカが主輸出先なので今日の話はたのしみです。  
◎北原 重信会員 講師の鹿熊 翼さん、アメリカの話よろしくお願ひします。

出席報告

会員数 54名  
出席 41名  
出席率 73%

## ◆ 卓 話 ◆

講師の鹿熊様は北原重信 国際奉仕委員長の大学時代の同級生で、ブリヂストン・アメリカやブリヂストン・カナダで活躍された。その豊かな経験を踏まえ、興味深いお話を聞かせていただける。

「アメリカは何処へ向かうのか？」

鹿熊 翼 様



アメリカ大統領選挙が間近に控えている。個人的にはバイデン氏に勝利して頂きたい。

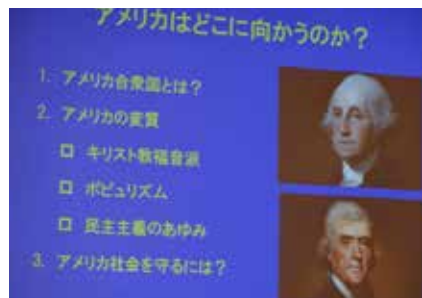
アメリカ人の 80% がキリスト教徒で、その多くが福音派に属している。福音派はトランプ大統領の支持母体であり、歴史的には現世での利益を追求する反知性主義的な集団という特徴がある。このような集団が背景となり、アメリカではポピュリズム勢力が台頭しており、イデオロギーが稀薄のままに熱狂を繰り返している。

このようなポピュリズムの台頭を背景に、アメリカの政治は、民主主義のガードレールともいえる憲法について解釈変更が繰り返され、独立と建国の理念である自由・平等・公正の理念がないがしろにされる局面が多々見られるようになってきている。

また、伝統的にアメリカの 2 大政党の間では、相互的寛容と組織的な自制心の元、大きく偏ることがなく政治運営されてきたが、19 世紀の終わりごろからこのような規範が崩壊し、寛容と自制心が稀薄になってきた。

このような規範の崩壊は、# Me Too で象徴される女性差別撤廃や # Black Lives Matter に象徴される人種差別撤廃の運動などの二極化を際立たせてきている。

来る大統領選挙で、トランプ大統領の傍若無人が阻止され、アメリカ国内においては、様々な制度が適正化、二極化の克服が進み、外交的にはパクス・アメリカーナが堅持されて行くことを期待したい。



その他、様々な論点を興味深く講演して頂いた。  
ご講演、真にありがとうございました。